

東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 看護学専攻博士後期課程

2025 年度入学試験問題

専門科目_共通問題	P 1
専門科目_専門問題__基盤創出看護学領域	P 2
専門科目_専門問題__予防推進看護学領域	P 3
専門科目_専門問題__地域包括看護学領域	P 4

<注意事項>

1. 監督者の指示があるまで開かないでください。
2. 受験番号・氏名を忘れないで記入してください。
3. 問題・解答用紙は試験場から持ち出さないでください。
4. 専門科目は共通問題と専門問題があります。

共通問題は全員が解答してください。

専門問題は全分野の入学試験問題が綴られています。志願する専門領域の問題を解答してください。

受験番号	氏名
------	----

共通問題

内外の看護理論の中からひとつを選択し、その理論の概要、実践での適用例、理論の限界について、1100 字以内で論述しなさい。

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程
2025 年度入試問題 専門科目

受験番号	氏 名
------	-----

基盤創出看護学領域

問題 1.

看護師の不足は世界的な問題となっている。看護師の人材確保と不足の現状を国内外の動向から説明し、どのような対応策が取られているか、そして国内外の研究を踏まえてあなたはどのような対策が必要と考えるかを、論述しなさい。

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程
2025 年度入試問題 専門科目

受験番号	氏 名
------	-----

予防推進看護学領域

問題 1.

日本では、妊娠、分娩、産後 1 年までの育児に関連する課題があります。

以下の問いに答えなさい。

1) 都市部における妊娠、分娩、産後 1 年までの育児に関連する課題のうち、助産師（看護師）として介入可能な課題についてそれぞれ（妊娠、分娩、産後 1 年までの育児）列挙し、その介入（支援）方法について簡潔に述べてください。

2) 上記のうち 1 つ（妊娠、分娩、産後 1 年までの育児のいずれか）について、諸外国での効果的な介入（支援）方法について挙げ、日本へ導入する場合にどのような点を考慮する必要があるか述べてください。

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程
2025 年度入試問題 専門科目

受験番号	氏 名
------	-----

地域包括看護学領域

問題 1.

日本国内における感染症対策に関する社会的・学術的背景、関連する国内外の研究の動向
について述べよ。

問題 2.

問題 1 で論述した内容に基づく感染症対策における看護活動に関する学術的な「問い」
について述べよ。